# 「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ(2)

鈴木 俊貴

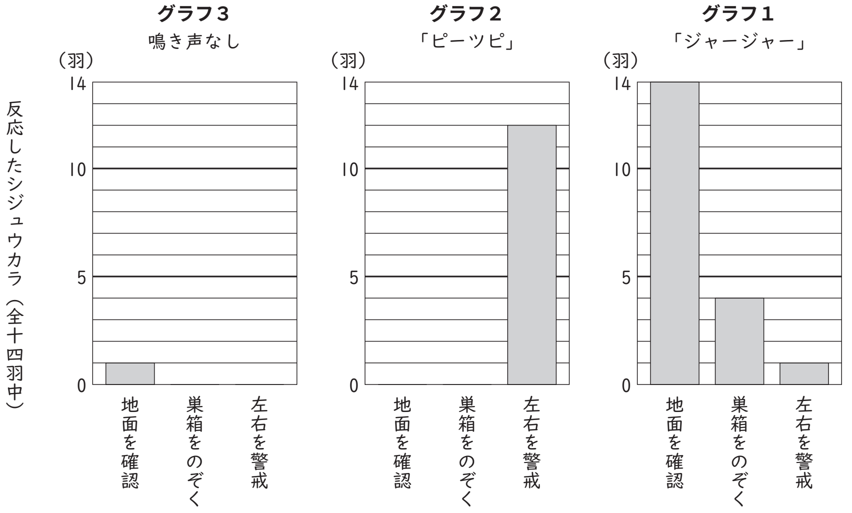
(筆者は、「ジャージャー」という鳴き声が「ヘビ」を意味する「単語」であるなら、それを聞いたシジュウカラはヘビを警戒するようなしぐさを示すかもしれないと考え、検証を行った。次の文章は、スピーカーから音声を流して聞かせたときのシジュウカラの行動の変化を観察したものである。)

8 シジュウカラは、「ジャージャー」という鳴き声を聞くと、巣箱が掛かった木の周辺で地面をじっと見下ろしたり、時には巣箱の穴をのぞいたり、普段とは明らかに異なるしぐさを示しました(**グラフ1**)。いっぽう、カラスやネコなどを警戒するときの「ピーツピ」という鳴き声を聞かせても、これらの行動は見られず、首を左右に振り、周囲を警戒するだけでした(**グラフ2**)。また、鳴き声を流さない場合には、どのような種類の警戒行動もほとんど示しませんでした(**グラフ3**)。

9 ヘビは地面から木をはい上り、巣箱に侵入して卵やひなを襲います。親鳥が卵やひなを守るためには、ヘビをいち早く見つけ出し、追い払わなければなりません。「ジャージャー」という鳴き声を聞いて地面や巣箱を確認しに行くことは、親鳥がヘビの居場所をつき止めるうえで大いに役立つと考えられます。

10 しかし、この実験結果から、シジュウカラの「ジャージャー」という鳴き声がヘビを示す「単語」であると、十分に主張できるでしょうか。もしかしたら、「ジャージャー」という鳴き声は、「地面や巣箱を確認しろ。」といった命令であり、それを聞いたシジュウカラはヘビの姿をイメージすることなく、それらの行動を取ったのかもしれません。

(8〜10は教科書本文における形式段落番号を表します)



確認テスト　本文を読んで、問いに答えなさい。

(1) 8段落で述べられていることとして適当なものを選びなさい。

ア 検証の目的　イ 検証の問題点
ウ 実験・観察の結果　エ 結果に対する解釈(かいしゃく)・考察

〔　〕

(2) 次の①～③の場合に、地面を確認したシジュウカラは全十四羽中何羽か。**グラフ1～3**を参考に、それぞれ算用数字で答えなさい。

① 「ジャージャー」という鳴き声を聞かせた場合
② 「ピーツピ」という鳴き声を聞かせた場合
③ 鳴き声を流さなかった場合

①〔　〕羽　②〔　〕羽　③〔　〕羽

(3) 検証の結果、シジュウカラが左右を警戒するという反応を最も示したものを選びなさい。

ア 「ジャージャー」という鳴き声を聞かせた場合
イ 「ピーツピ」という鳴き声を聞かせた場合
ウ 鳴き声を流さなかった場合

〔　〕

(4) 検証の結果に対する筆者の考察となるように、解答欄(かいとうらん)に入る言葉を本文中からそれぞれ書きぬきなさい。

ヘビは［　　］から木をはい上り、［　　］に侵入して卵やひなを襲うので、「ジャージャー」という鳴き声を聞いた場合のシジュウカラの行動は、親鳥がヘビの［　　　］をつき止めるのに役立つと考えられる。